

1. 授業の概要(ねらい)

2017年(平成29年)の学習指導要領の告示では、「資質・能力」の育成を軸とした教育課程が再編成され、2020年度(令和2年)より完全実施されている。図画工作科の授業は、小学校の教育課程の中で、次に示す目標を掲げ、位置付けられた。

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1)対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
- (2)造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3)つくいだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

(『小学校学習指導要領解説 図画工作編』文部科学省、平成29年6月)

本授業では、ここに述べられた資質・能力の育成を受けて、1～2年次で学んだ教科の基礎的な知識や技能などを、さらに深めるために、①題材をどのように設定するか、②教師はどのようにあるべきか、③子供をどのように捉えるか、の3つの視点から、より実践的な図画工作科の学習について学ぶ。

2. 授業の到達目標

- ・図画工作科における基礎的な知識・技能を身に付け、活用できる。
- ・各分野(造形遊び、絵に表す、立体に表す、工作に表す、鑑賞)における具体的な題材を設定し、指導計画を立てることができる。
- ・題材を開発し、指導計画を立て、授業実践ができる。
- ・グループワークで議論を深めながら、実践を振り返ることができる。

3. 成績評価の方法および基準

- ①図画工作科の題材設定や指導方法の基礎的な知識や技能等を身に付けている。25%
- ②授業実践力。25%
- ③話し合いや協議による振り返り。25%
- ④レポートの作成と提出。25%

4. 教科書・参考文献

教科書

帝京大学教育学部初等教育学科初等教育コース編。『小学校教師の専門性育成』 現代図書、2020年。

参考文献

日本造形教育研究会(代表者:佐々木達行、北澤俊之、小嶋成夫、小林貴史、立川泰史、石賀直之。著作者:大櫃重剛他)。『文部科学省検定小学校図画工作教科書(2020年度版)』 開隆堂出版株式会社。

5. 準備学修の内容

- 「学習指導案の作成」「教材研究」「活動に付随した準備等」などは、授業外でも行う。
- 授業で紹介した「展覧会」「児童作品展」「造形教育関係の施設」などに足を運び、鑑賞したり、見学したりするなど、造形教育への見聞を高めるようにする。

6. その他履修上の注意事項

- 実際の教育活動にどのように活用するかイメージしながら受講する。
- 汚れてもよい服装や材料、用具の準備、安全指導などに留意し活動する。
- 進度や理解等によって、進行内容を変更する場合があるので、留意する。

7. 授業内容

- 【第1回】 ・オリエンテーション(「授業の目標、内容、方法、評価」や「受講するにあたっての諸注意」など)。
- 【第2回】 ・題材研究① 図画工作科の題材とその構造、及び、育成する資質・能力との関連について学ぶ。
- 【第3回】 ・題材研究② 表現の具体的な内容与方法①「造形遊び」の題材設定と指導法について学ぶ。
- 【第4回】 ・題材研究③ 表現の具体的な内容与方法②「絵や立体や工作に表す」の題材設定と指導法について学ぶ。
- 【第5回】 ・題材研究④ 鑑賞の具体的な内容与方法 「鑑賞」の題材設定と指導法について学ぶ。
- 【第6回】 ・題材開発① 図画工作科の指導計画と評価の方法について学ぶ。
- 【第7回】 ・題材開発② 各領域の選択と題材開発の方法について学ぶ。
- 【第8回】 ・模擬授業①の実施と協議会による振り返り。
- 【第9回】 ・模擬授業②の実施と協議会による振り返り。
- 【第10回】 ・模擬授業③の実施と協議会による振り返り。
- 【第11回】 ・模擬授業④の実施と協議会による振り返り。
- 【第12回】 ・模擬授業⑤の実施と協議会による振り返り。
- 【第13回】 ・模擬授業⑥の実施と協議会による振り返り。
- 【第14回】 ・個々の授業内容のまとめ(①題材をどのように設定するか、②教師はどのようにあるべきか、③子供をどのように捉えるか、の3つの視点から振り返る)
- 【第15回】 ・学習のまとめ(授業の総括とレポートの作成、提出)。